

山毛榉(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第6号

～子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

野沢温泉小学校校歌・二番

作詞 中村 信童

作曲 中村 信童

ほら 見てごらん その影から

不思議な力が 見守っている

小さな角も 曲がった坂も

永い 年月の 想いで できてる

星の空の下で

眠りにつく獅子

ろうそくがてらした

猿田彦の指先

燃える 炎の向こうに見える

なつかしい顔

菜の花 夏祭り 秋の実り

道祖神太鼓

ぼくを わたしを 育ててくれた

豊かな力

父や 母が守ってくれた

たいせつな宝

小学校

校歌の歌詞から

コロナ禍を経てかつての日常に戻りつつあった令和6年の3月、卒業式で校歌が久しぶりに二番まで歌われました。二番の歌詞は村の景色やお祭りの風景を歌っています。温泉街の細い路地や曲がりくねった坂道などの風景に、「不思議な力」が宿っていると歌い、湯澤神社の夜祭りの様子が、鮮やかに浮かび上がります。式の後、「校歌の歌詞に感動した。」という声が、昇降口で記念撮影をする保護者から聞かれましたが、私たち職員にもまた、目に浮かぶ風景があり、会場の皆さんと共に感動できたことが嬉しかったです。

ふるさとCM大賞

「100年前から

続いている道」

5年生の担任は、この春に着任したばかりなのですが、入学式の前に他の職員から「校歌の二番の歌詞が素敵なんだよ」と聞かされていました。その担任は入学式で初めて野沢温泉小の校歌を聞き、歌詞に興味をもちました。

4月、1年間の活動の見通しを話し合った5年生は、この校歌をもとに30秒の村の紹介動画をつくって、「abn・八十二ふるさとCM大賞NAGANO」に応募することにしました。

5月、クボタ写真館さんに、古い写真を使って村の歴史について教えていただきました。そのお話の中で、子ども達は明治時代の大湯通りの写真に興味をもち、明治の大湯通りと今の大湯通りの風景を軸にCMの構想が始まりました。ちょうど100年前の写真を見て、今と変わらない風景に驚いた子ども達。校歌にある「父や母が守ってくれた大切な宝」とは、こんな変わらない風景のことかも知れないと、気づき始めました。

CM作りではテレビ菜の花さんが、「絵コンテで全体の構想を決めること」、「撮影時のカメラワーク」、「編集作業について」など、プロの技を細かく教えてくださいました。5年生はそれらを参考に少しでもよい作品をつくろうと、クラスのみんなで話し合い、協力する姿がありました。撮影では、大湯通り周辺のお店に協力をお願いしたり、散策する観光客の方に事情を説明して撮影の間待っていただいたり、子ども達が自分で動いて声をかける姿がありました。



地域の皆さんと学ぶことを 大事にしたい

今回のCM作りでは、村の大人の力を借りることで、子ども達だけでは気づけないこと（100年前の風景など）に気づかせていただいたり、また、子ども達だけではイメージできない目標や手本（CMの完成度など）を示していただいたりしました。おかげで子ども達の学習の質がぐっと上がったように感じます。

小学校では、「分からないことはくわしい人に聞いてみよう」という学習がよく行われます。もちろん教師が説明することもあります。やはり、実際に携わっている大人に聞く方が子ども達は喜びます。これからもどんどん、地域の皆さんと共に学ぶ機会が増えることを願っています。

今回のCM作りでは、村の大人の力を借りることで、子ども達だけでは気づけないこと（100年前の風景など）に気づかせていただいたり、また、子ども達だけではイメージできない目標や手本（CMの完成度など）を示していただいたりしました。おかげで子ども達の学習の質がぐっと上がったように感じます。

今年の活動

5年生に限らず、どの学年もその道の達人に聞きながら学習を進めています。



1年生はどろ団子先生と
どろ団子作りをしました。



3年生はクラスの子のおじいちゃんや
お父さんに野沢菜の栽培を教わりました。



2年生は大豆農家さんに
大豆の種まきから教わりました。



4年生は長野県ポッチャ協会の皆さんと
ポッチャを楽しみました。



6年生はキッチン セアボスさんに
おいしいピザの作り方を教わりました。

文責：小学校 平田 久貴